

## 令和6年第2回定例会9月議会 発言通告一覧表

市議会の本会議は、どなたでも自由に傍聴できます。本会議は午前10時から開会します。傍聴される方は議会棟3階傍聴者ロビーへ直接お越しください。発言内容の詳細については、次ページ以降をご覧ください。

### 発 言 順 位

9月17日(火)

(1)	千住	啓介	議員	(自由民主党明石)	……………P2
(2)	梅田	宏希	〃	(公明党)	……………P3
(3)	中川	夏望	〃	(市民の会)	……………P5
(4)	宮坂	祐太	〃	(明石かがやきネット)	……………P8
(5)	上田	雅彦	〃	(明石維新の会)	……………P10
(6)	榎本	和夫	〃	(自由民主党明石)	……………P11
(7)	尾倉	あき子	〃	(公明党)	……………P12
(8)	山中	裕司	〃	(市民の会)	……………P13

9月18日(水)

(9)	林	丸美	議員	(明石かがやきネット)	……………P15
(10)	中村	茂雄	〃	(明石維新の会)	……………P17
(11)	出雲	有希子	〃	(自由民主党明石)	……………P18
(12)	国出	拓志	〃	(公明党)	……………P20
(13)	黒田	智子	〃	(市民の会)	……………P21
(14)	正木	克幸	〃	(明石維新の会)	……………P23
(15)	井藤	圭順	〃	(自由民主党明石)	……………P24
(16)	飯田	伸子	〃	(公明党)	……………P25

9月19日(木)

(17)	金尾	良信	議員	(市民の会)	……………P26
(18)	高尾	秀彰	〃	(明石維新の会)	……………P27
(19)	三好	宏	〃	(自由民主党明石)	……………P28
(20)	長尾	博子	〃	(公明党)	……………P30
(21)	山下	祥	〃	(市民の会)	……………P31
(22)	辻本	達也	〃	(日本共産党)	……………P33
(23)	中西	礼皇	〃	(対話の会あかし)	……………P35
(24)	家根谷	敦子	〃	(スマイル会)	……………P36

※ 順位については予定です。

令和6年第2回定例会9月議会発言通告一覧表

(代表質問)

発言順位	1	議員名	千住 啓介 (自由民主党明石)
発言事項	<p><b>1 令和5年度決算について</b></p>		
	<p>(1) 市民税について                      (要旨) 法人市民税、個人市民税が増加している。この主な要因は何か。また、この結果を踏まえて、今後の明石市政の方向性が見えてくると考えるが、市の見解を聞く。</p> <p>(2) 民生費について                      (要旨) 民生費が対前年度比7.4%の増加であった。構成比も51.8%と一般会計決算全体の半分以上を超えてきた。今後も増加傾向であると予想されるが、民生費、扶助費について、今後の推移と市の方向性を聞く。</p>		
発言事項	<p><b>2 丸谷市長が目指す明石市の未来について</b></p>		
	<p>(1) 明石市のビジョンについて                      (要旨) 本市の方向性を明確に示すべきと考える。市長の見解を聞く。</p> <p>(2) 大蔵海岸からの本市の活性化ビジョンについて                      (要旨) 誰もが感動する景観やビーチスポーツのメッカとなっている大蔵海岸の現状も踏まえて、戦略的なまちづくりを行うべきと考えるが、市長の見解を聞く。</p> <p>(3) 豊かな海再興へのビジョンについて                      (要旨) 生物多様性国家戦略2023-2030が閣議決定された。環境省としても、ネイチャーポジティブ(自然再興)の実現を目指し、自然を回復軌道に乗せるため、海の生物多様性の損失を止め、反転させるための目標を掲げている。将来の海のことを考えたとき、今すぐ行わないと手遅れになると危惧している。そこで市長が明確なビジョンを示すべきと考えるが、見解を聞く。</p>		
発言事項	<p><b>3 スマートインターチェンジ設置について</b></p>		
	<p>(1) 市長の見解について                      (要旨) 6月議会においてスマートインターチェンジ設置基礎調査の報告があった。その際は委託業者の報告のみであり、この報告に対する本市の見解は示されなかった。この報告を受けての市長の見解を聞く。</p>		

発言順位	2	議員名	梅田 宏希 (公明党)
発言事項	<p><b>1 令和5年度明石市一般会計決算について</b></p> <p>(1) 財政指標について  (要旨) 財政力指数は前年度に比べ低下して悪化、経常収支比率は前年度に比べ低下で改善、公債費負担比率も前年度に比べ低下で改善、基金残高比率は前年度に比べ低下で悪化している。経常収支比率等は改善したとはいえ、監査委員からの審査意見書には令和5年度は退職手当などの支出がなかったことの影響もあると記載がある。見解を問う。</p> <p>(2) 健全化判断の4比率について  (要旨) 健全化判断比率の実質赤字比率、連結実質赤字比率は値なし、実質公債費比率は早期健全化基準や財政再生基準から見て問題なし、将来負担比率は早期健全化基準から見て問題なしとしているが、決算資料にある今後の市債現在高及び償還額の見込では一般会計の具体的な借入将来予測が分からない。借入を必要とする事業名について問う。</p> <p>(3) 市税の収入未済額、不納欠損額について  (要旨) 市税については約16億5千万円(対前年度比3.7%)増で決算しているが、収入未済額約9億1千万円、不納欠損額約7千6百万円については改善したとはいえ、税の公平性の観点からさらなる対策を問う。</p> <p>(4) 臨時財政対策債について  (要旨) 臨時財政対策債は2001年度に導入された地方債の一種で、財源不足を補填するため、地方自治体が特例として発行する赤字公債である。本市は令和5年度末現在高は約485億8千万円、令和5年度は17億2千万円を起債している。赤字公債としての起債は禁じ手であり、基準財政需要額の減少で地方交付税に上乗せされない懸念がある。見解を問う。</p> <p><b>2 旧明石市立図書館について</b></p> <p>(1) 耐震補強と解体新設の経費の比較について  (要旨) 3月議会で解体撤去を前提にした再整備について指摘したが、再考の動きはない。市がワークショップ等で市民に示す資料においても、新旧施設の経費比較はなされておらず、説明が不十分と考える。再度、国の補助メニューも含めての比較を問う。</p>		

発言順位	2	議員名	梅田 宏希(公明党)
発言事項	<p>(2) 今後のスケジュールについて  (要旨) 6月議会の委員会報告資料には、利活用計画(案)を9月議会に報告とあるが、コンセプトと主な機能について曖昧で、設置目的の具体性が見えない。事業の目的、規模、経費を示した上で、検討会を設置し、その後にパブリックコメントを行うべきである。見解を問う。</p> <p>(3) 公共施設の全体構想との整合性について  (要旨) 本市の公共施設は経年劣化した施設の再整備及び新整備が想定される。旧明石市立図書館の再整備も含めて、具体的な長期的スケジュールと経費について問う。</p>		

発言順位	3	議員名	中川 夏望(市民の会)
発言事項	<p><b>1 令和5年度決算について</b></p> <p>(1) 令和5年度明石市一般会計について  (要旨) 令和5年度の当初予算では40億円の基金の取崩しが想定されたが、実質単年度収支は0.3億円と、2年ぶりの黒字となった。また、3基金残高の当初予算は78億円を見込んでいたが、実績は119億円、予算を大きく上回り、さらに前年度からも0.1億円積み増して着地した。当初予算から大きく改善できた要因は何か。市長の見解を問う。</p> <p>(2) 明石地域振興開発株式会社の配当について  (要旨) 本市はアスピア明石を所有する明石地域振興開発株式会社の株式の58%を保有している。令和5年度は1.1億円の黒字で着地した。過去の減損の影響で繰越利益剰余金は21億円のマイナスとなっているが、分配可能額は50億円あるため配当は可能であり、実現できれば大きな財源となる可能性がある。来年度以降の当期純利益の配当を検討しないか。本市の見解を問う。</p> <p>(3) 国民健康保険事業特別会計 令和9年度の保険料水準の統一までの明石市国民健康保険事業基金残高について  (要旨) 本市は平成30年度以降、保険料率(所得割)を11.72%と、県が示す標準保険料率12.73%に比べ低い料率に据え置いている。そのため令和5年度は赤字であり、今後も赤字が見込まれている。令和5年度の基金残高は、4.9億円取り崩し、14.6億円となっている。令和7年度の基金残高見通しは5.8億円であり、3年後には基金が底をつくと想定される。基金残高について本市の見解を問う。</p> <p>(4) 国民健康保険事業特別会計 令和9年度の保険料水準の統一までの財源の確保について  (要旨) 県が示す標準保険料率は、収支均衡する料率を設定している。しかし、標準保険料率が適用される令和9年度までに基金が枯渇するおそれがある。  保険料水準の統一までに赤字を解消することは必須であるが、県は、基金を活用し保険料を抑えている市町は赤字保険者となる可能性があると考えており、被保険者の急激な負担増を考慮し、統一前の段階的な保険料の引上げを推奨している。本市では、統一までの財源をどのように確保するのか。見解を問う。</p>		

発言順位	3	議員名	中川夏望(市民の会)
発言事項	<p><b>2 子育て支援のさらなる拡充のために</b></p> <p>(1) 放課後児童クラブの入所申込書類を簡素化しないか。  (要旨) 移住してきた保護者から、本市は他市に比べ、放課後児童クラブの入所申込に関する提出書類が多く、手間がかかると聞く。他市に倣い、提出書類を簡素化しないか。本市の見解を問う。</p> <p>(2) 放課後児童クラブの入所申込を電子申請できるようにしないか。  (要旨) 保護者や担当課の事務作業軽減のため、放課後児童クラブの入所申込を電子申請できるようにしないか。本市の見解を問う。</p> <p>(3) 放課後児童クラブの利用料について  (要旨) 保護者から、放課後児童クラブの利用料が高すぎるとの声を聞いている。本市の利用料は、おやつ代などを含めて9,600円と、隣の神戸市の6,000円に比べ、高くなっている。子育て世帯の負担軽減のため、利用料を減額しないか。本市の見解を問う。</p> <p>(4) 保育施設に対する指導監査の結果を公開しないか。  (要旨) 本市では現在、指導監査結果について、件数のみ公開している。他県の指定都市では詳細に公開している市も多く、保護者が自分のこどもを預けている保育園の状況を確認することができる。指導監査を形式的なもので済まさず、市民への安心感につなげるためにも、指導監査結果を公開しないか。本市の見解を問う。</p> <p><b>3 がん検診の拡充について</b></p> <p>(1) 胃がん検診(胃内視鏡検査)を実施しないか。  (要旨) 本市では、ペプシノゲン検査という胃がんリスク検査を実施している。この検査は胃がん自体を見つける検査ではないため、本市の胃がんリスク検査は、がん検診受診率の対象となっていない。厚生労働省が定めるがん検診の指針では、胃がん検診として胃部エックス線検査又は胃内視鏡検査を推奨している。本市でも、胃がん検診として胃内視鏡検査を実施しないか。本市の見解を問う。</p>		

発言順位	3	議員名	中川夏望(市民の会)
発言事項	<p>(2) ひとり親世帯のがん検診を無料化しないか。  (要旨) 厚生労働省が実施した令和3年全国ひとり親世帯調査結果において、ひとり親の困っていることは、母子世帯は自分の健康が、家計、仕事に次いで3位、父子世帯もまた、自分の健康が、家計、家事に次いで3位であった。  経済的な心配を抱え、仕事に家事に育児に忙しいひとり親のがん検診の受診を促すためにも、がん検診を無料化しないか。本市の見解を問う。</p> <p><b>4 市民栄誉賞の創設について</b></p> <p>(1) 明石市市民栄誉賞を創設しないか。  (要旨) 先日行われたパリパラリンピックにて、本市出身で明石ふるさと大使でもある上地結衣選手が、車いすテニスで金メダルを獲得した。上地選手のように、国際的に顕著なご活躍をされ、市民に希望や活力を与えてくださる方の栄誉をたたえるため、市民栄誉賞を創設しないか。本市の見解を問う。</p>		

発言順位	4	議員名	宮坂 祐太 (明石かがやきネット)
発言事項	<p><b>1 令和5年度明石市水道事業会計決算について</b></p> <p>(1) 損益計算書について  (要旨) 損益計算書上は、約4億1,600万円の当年度純利益を確保しています。ただ、先の令和4年度決算では、給水収益の減少や動力費の支払いの増加等により、令和3年度決算と比較して約1億7,000万円当年度純利益が減少していましたが、令和5年度決算においては、給水収益の増加並びに動力費の支払いの減少という要因があったにも関わらず、前年度比でさらに5,000万円近く当年度純利益が減少しています。しかも、令和5年度における給水収益の増加及び動力費の支払いの減少要因は、大口使用者の動向や国からの電気料金補助による一時的なものです。約1億4,600万円の営業損失を計上するなど、本市水道事業が依然として厳しい経営環境にあることには変わりがないと思いますが、今後の見通しも含め、市の認識をお伺いします。</p> <p>(2) 貸借対照表及びキャッシュ・フロー計算書について  (要旨) 貸借対照表によると、前年度比で7億円近く企業債残高が増加するとともに、保有する現金・預金が約23億5,000万円増加しています。また、キャッシュ・フロー計算書によると、令和4年度中は企業債の元金償還額と新たな企業債の借入れについて金額がほぼ均衡していましたが、令和5年度中には、企業債の元金償還額の倍以上にあたる約13億2,500万円の新たな企業債の借入れを行っています。これらにより、企業債の新たな借入れを大幅に増やしてでも、手元に現金・預金を残しておきたい意図を感じますが、その背景についてお伺いします。また、決算書においては、企業債残高が増加傾向で推移していくなど、今後、経営環境が厳しくなることが見込まれる旨の記述があります。これ以上企業債の新たな借入額を増やし続けることには抑制的であるべきと考えますが、市の認識をお伺いします。</p>		



発言順位	4	議員名	宮坂 祐太 (明石かがやきネット)
発言事項	<p>(3) 水道料金の改定について  (要旨) 経営分析表によると、令和5年度の料金回収率は99.64%と、100%を下回っています。これは、給水に係る費用が水道料金以外の収入で賄われていることを意味しています。過去には令和2年度にも、料金回収率が100%を下回ったことがありますが、コロナ禍において令和2年7月定期検針分から6か月間、水道料金の基本料金を免除したことが影響しているものと思われます。従って、特殊要因を除くと、令和5年度においては実質的に初めて料金回収率が100%を下回る事態となっており、適正な料金収入の確保に関する議論が急がれます。小項目(1)(2)で触れた本市水道事業を取り巻く経営環境の厳しさを十分踏まえつつ、上下水道事業経営審議会では早急に議論を開始していただきたいと思いますが、市の認識をお伺いします。</p>		

発言順位	5	議員名	上田 雅彦 (明石維新の会)
発言事項	<p><b>1 令和5年度決算について</b></p> <p>(1) 歳入と歳出について (要旨) 歳入の安定性について、見識を問う。</p> <p>(2) 経常収支比率について (要旨) 今後の経常収支比率を改善するための考えを問う。</p> <p>(3) 義務的経費の増加と柔軟性について (要旨) 今後も増加していくと予測される義務的経費について、3項目(人件費・扶助費・公債費)について問う。</p> <p>(4) 決算からひもとく義務的経費の適正化及び新しい施策について (要旨) 低所得者への持続可能な支援策や今後の新しい施策等について、見識を問う。</p> <p>(5) 中長期的に目指す本市のこれからの成長ベクトルについて (要旨) 見識を問う。</p>		

発言順位	6	議員名	榎本 和夫（自由民主党明石）
発言事項	<p><b>1 混乱する兵庫県政が明石市政に与える影響について</b></p> <p>(1) 明石港東外港整備の現状について （要旨）進捗を問う。</p> <p>(2) 旧明石市立図書館跡地の状況について （要旨）進捗を問う。</p> <p>(3) 県の補助事業の進捗について （要旨）支障はないか問う。</p> <p>(4) 市長としての受け止めはいかがか。 （要旨）市長会として要望書を提出しているが、市長個人としての見解を問う。</p> <p><b>2 「明石型生船」について</b></p> <p>(1) 明石の産業遺産としての明石型生船について （要旨）認識はあるのか問う。</p> <p>(2) ふね遺産への登録について （要旨）権威ある、ふね遺産に登録申請すべきと考えるが、いかがか。</p> <p>(3) 文化博物館でのコーナー設置について （要旨）現在、進行中の「ぶんぱく（明石市立文化博物館）あり方検討会」にて検討されるべきと考えるが、いかがか。</p>		

発言順位	7	議員名	尾倉 あき子 (公明党)
発言事項	<p><b>1 子ども・若者育成支援推進法改正に伴うヤングケアラー支援強化への本市の取組について</b></p> <p>(1) ヤングケアラーの実態調査について (要旨) ヤングケアラーの実態調査について問う。</p> <p>(2) ヤングケアラー支援強化に係る法改正に伴う本市の取組について (要旨) 今年6月施行の子ども・若者育成支援推進法改正に伴うヤングケアラー支援強化への本市の取組について問う。</p> <p><b>2 全国的に広がる小学校給食の無償化の実現について</b></p> <p>(1) 小学校給食の無償化の実現について (要旨) 小学校給食の無償化が全国的に広がる中、本市における無償化の実現について問う。</p> <p><b>3 熱中症予防のさらなる取組でやさしいまちづくりを</b></p> <p>(1) 夏のイベント等における本市の熱中症対策について (要旨) 夏まつりなど夏のイベントにおける本市の熱中症対策を問う。</p> <p>(2) クーリングシェルター、クールスポットの充実と市民への周知について (要旨) 熱中症予防の取組として、クーリングシェルターの設置やクールスポットの拡充を行い、マップ等で市民への周知徹底を図らないか。</p> <p>(3) 明石駅前広場など公共施設へのミストシャワーの設置について (要旨) 明石駅前広場など公共施設にミストシャワーなどを設置し、やさしいまちづくりに取り組まないか。</p>		

発言順位	8	議員名	山中 裕司(市民の会)
発言事項	<p><b>1 住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるように</b></p> <p>(1) 独り暮らし高齢者の孤独死・孤立死を防ぐ取組について  (要旨) 超高齢化に伴い一人で暮らす高齢者世帯が増え続け、孤独死と孤立死が増加し社会問題になりつつある。高齢者の孤独死を防ぎ、故人の尊厳が侵されないよう対策が必要だと考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(2) 認知症による一人歩き高齢者の見守り支援について  (要旨) 認知症高齢者の行方不明者が年々増加している。自宅から遠く離れた土地で発見されたり、本人が住所など身元を伝えられず身元不明者とされているケースもある。行方不明発生時、発見者が携帯電話等で行方不明者についているQRコードを読み取ると瞬時にご家族にメールが配信される「見守りシール」を導入してはどうか、市の見解を問う。</p> <p><b>2 地域の生活環境問題の解決に向けて</b></p> <p>(1) 空き家問題の解消に向けた取組について  (要旨) 適切に管理されず老朽化した「放置空き家」が問題となっている。倒壊すれば隣接する建物や歩行者などを傷つけてしまうおそれもあり、害虫・害獣、不法投棄などの衛生的なリスクもある。近隣の空き家でお困りの方に対し、空き家対策の普及啓発を目的とした「空き家の手引書」を作成してはどうか、市の見解を問う。</p> <p>(2) ごみ屋敷問題の現状と不良な生活環境の解消について  (要旨) ごみ屋敷問題は近隣トラブルや環境トラブルにも発展しかねない深刻な社会問題である。ごみから発せられる悪臭、害虫・害獣といった近隣住民にも害となる事態が発生してしまうため、ごみ屋敷問題を相談できる窓口が必要だと考えるが、市の見解を問う。</p> <p><b>3 海岸と護岸の生態系を守る取組と持続可能な管理について</b></p> <p>(1) 絶えない釣糸ごみ問題と鳥や動物の保護について  (要旨) 大蔵海岸の護岸で釣り人が残していった釣糸が鳥や動物の足に絡まる被害が相次いでいる。鳥の足がちぎれたり、釣針が付着した餌を飲み込んで命を落としてしまう鳥が後を絶たない。釣糸被害をゼロにするために、放置される餌の掃除用デッキブラシを設置できないか、市の見解を問う。</p>		

発言順位	8	議員名	山中 裕司(市民の会)
発言事項	<p>(2) 林崎・松江海岸のボランティア専用ごみ箱の管理について  (要旨) 林崎・松江海岸に設置されている「ボランティア専用ごみ回収ボックス」には、ボランティアが集めたごみ以外にも、家庭から持ち込まれたごみやバーベキューの網、食べ残しの食材などが多く捨てられている。出したごみは自分で持ち帰るという原則を徹底するために、鍵を設置するなどの対策が必要だと考えるが、市の見解を問う。</p>		

発言順位	9	議員名	林 丸 美 (明石かがやきネット)
発 言 事 項	<p><b>1 西明石地区活性化に向けた取組について</b></p> <p>(1) J R 西明石駅前再整備について  (要旨) 西明石活性化プロジェクト協議会作成の「まちづくりの姿」で示された、地域課題の解決に向けての取組の第1弾である駅前再整備、並びに地域交流センターについて、進捗状況を問う。</p> <p>(2) 旧国鉄清算事業団用地について  (要旨) 過去の答弁では第2弾として取り組むとした旧国鉄清算事業団用地の活用について、進捗状況を問う。</p> <p>(3) 西明石駅北側エリアについて  (要旨) 第3弾として取り組むとした西明石駅北側エリアについては、現在、地域住民主体で上ヶ池公園の活用を中心としたまちづくりについて協議が進められており、近く地域住民の要望や今後の取組についてまとめた提案書を市に提出する予定である。地域住民の活動・提案に対する本市の受け止めについて、また、具体の提案があったとしても優先順位は変わらないのか、見解を問う。</p> <p><b>2 明石川PFAS問題に関する市民の不安への対応について</b></p> <p>(1) 相談窓口について  (要旨) PFASによる健康や環境への影響に関する市民の不安が大きくなっている。市長は記者会見で「不安があれば相談してほしい」と述べられていたが、具体的にどこに相談すれば、どのような解決がなされるのか、市の相談体制について問う。</p> <p>(2) 血液検査について  (要旨) 市民の不安は「分からないこと、情報がないこと」に由来する。分からないことを明らかにしていくためには、調査と検証の積み重ねが必要で、PFASに関して人体への影響を知るためには、まずは血中濃度のサンプリング調査が必要であると考えますが、市民の命と健康を守る市の認識を問う。</p> <p><b>3 こども会議について</b></p> <p>(1) こどもの意見聴取について  (要旨) 夏休み期間中に、タウンミーティング「こども会議」が開催された。市政に関してのこどもの意見聴取の場であったと認識しているが、今後の市政運営にどのように反映されるのか。また、今後も継続されるのかについて、見解を問う。</p>		

発言順位	9	議員名	林 丸 美 (明石かがやきネット)
発 言 事 項	<p>(2) プレーパークについて  (要旨) 今年度事業化されるプレーパークについても議論があった。こども会議で出された意見はどのように反映されているか、取組状況を問う。</p>		



発言順位	10	議員名	中村 茂雄（明石維新の会）
発 言 事 項	<p><b>1 公衆無線LAN環境整備について</b></p> <p>(1) 災害時における情報収集・発信について  (要旨) 日本各地で発生している災害や、南海トラフ巨大地震が一たび発生すれば、多くの市民が避難所を使用することとなる。避難所整備体制において、新しく収集した情報を市民と相互にやりとりできる組織体制や運用方法が必要と考えるが、本市の見解を問う。</p> <p>(2) Wi-Fi環境の整備について  (要旨) 災害時には正確な情報を迅速に得ることが必要である。Wi-Fiはインターネットにアクセスしやすく、情報収集や安否確認を迅速に行うことができ、最新の災害情報や避難指示も確認できる。避難所にWi-Fi環境を整備することは非常に重要なことであり、通信できる環境（避難所）は避難者の安心感を高め、適切な避難行動にもつながる。ライフラインともいえるWi-Fiの環境整備を早急に行うべきと考えるが、本市の見解を問う。</p> <p><b>2 バリアフリーに関する補助制度について</b></p> <p>(1) 合理的配慮提供支援に係る補助制度の周知及び運用について  (要旨) 合理的配慮の提供においては、行政と障害を持つ人の両者が対話を重ね、日常生活で困難を感じる課題の解決策を共に検討していくことが重要と考える。上記の視点に立ち、現在の補助制度の運用方法及び今後の在り方について、本市の見解を問う。</p>		

発言順位	11	議員名	出雲 有希子（自由民主党明石）
発言事項	<p><b>1 国民健康保険料の在り方について</b></p> <p>(1) 国民健康保険事業基金の減少について  (要旨) 令和3年度からの基金の減少度合いが大きい。令和12年に兵庫県下で保険料率が完全統一となるが、そこまで基金がもつとも思えない。国民健康保険料の在り方についてどう考えているのか問う。</p> <p>(2) 県下で統一される保険料率の予測は、現在の本市の保険料と比べてどうなのか。  (要旨) 保険料水準が統一され、大幅に保険料が上がった場合、市民の負担感は大きなものになると考えられる。負担感を軽減しながら、どのように応能応益負担を考えていくのかを問う。</p> <p><b>2 大蔵海岸民活施設用地管理事業について</b></p> <p>(1) 基金積立額について  (要旨) 大蔵海岸民活施設用地の条件付売却（いわゆるリースバック）で、リース終了時の最終リース料に充てるための基金の積立は現時点でいくらか。賃料との差額を積み立てているが、予定どおり積み上がっているのか。市場の賃料が上昇傾向であるが、この定期借地権契約に関しては、最終までこの賃料でいくのか。</p> <p>(2) リース料について  (要旨) ゼロ金利政策も終わり長期金利が上がってきているが、このリース契約に関してはリース料の値上げはないのか。</p> <p>(3) 大蔵海岸西駐車場企業誘致について  (要旨) 最終リース料を大蔵海岸民活施設用地の売却により支払う計画ではあるが、うまく売却できなかった場合のためにも、基金に積み上げる金額は多いほうが望ましいと考える。利用頻度の少ない西駐車場の賃貸計画の進捗を問う。また、6月議会での他の議員からの質問に対する答弁で、民間の不動産情報システムに掲載すると言っていたが、その後何か動きはあったのか。</p> <p><b>3 あかし動物センターの活用について</b></p> <p>(1) あかし動物センターの設備のさらなる活用について  (要旨) 中核市になって動物愛護施設を本市において設置したが、設備を有効活用していないように見受けられるところがある。現在、地域猫の不妊・去勢手術について民間の動物病院で手術した際には助成金を出しているが、あかし動物センターに手術室があるため、そこを利用して地域猫の不妊手術等をしてはどうか。</p>		

発言順位	11	議員名	出雲 有希子（自由民主党明石）
発言事項	<p>(2) ペットとの災害避難等について  (要旨) 本市の地域防災計画に、このたび、ペットの避難所の件が明示されるが、あかし動物センターを利用して、ペットの災害時の避難について市民に啓発してはどうか。</p>		

発言順位	12	議員名	国出拓志(公明党)
発言事項	<p><b>1 教育行政について</b></p> <p>(1) 児童生徒に配布しているタブレットの活用について  (要旨) 校支援システムの学習帳アプリのこれまでの具体的な運用、成果及び今後の対応について、また、タブレットの活用について、教育委員会が主体となるか、あるいは少なくとも各学校とリアルタイムで情報を共有するなどの工夫について問う。</p> <p>(2) 日本語指導が必要な子どもたちへの対応について  (要旨) 現状、外国にルーツを持つ子どもたちへの語学支援についての市の取組は。また、7月に施行された教科書バリアフリー法改正を受けた市の取組方針は。  タブレットを活用し、NPO法人等の力も借りながら放課後や休日における日本語習得の取組ができないか。</p> <p>(3) 市立の中学校、高校における制服の選択肢にショートパンツを加えないか。  (要旨) 猛暑対策として、市立の中学校、高校の制服の選択肢にショートパンツの追加を考えていかないか。</p> <p><b>2 災害用自動販売機について</b></p> <p>(1) 現在の災害用自動販売機の設置状況はどのようなものか。  (要旨) 市の現在の状況を問う。</p> <p>(2) 市管理施設への設置や民間事業所への設置の啓発など、災害用自動販売機の推進についての考えは。  (要旨) 市の今後の対応を問う。</p>		

発言順位	13	議員名	黒田 智子(市民の会)
発言事項	<p><b>1 不登校支援について</b></p> <p>(1) 当事者のこども・保護者へのニーズ調査をしないか。  (要旨) 文教厚生常任委員会で、不登校支援の先進自治体(つくば市・世田谷区)を視察した。必要な施策を考えるに当たり、両自治体共にニーズ把握から始めている。本市でも、まずはニーズ把握から始めてはどうか。</p> <p>(2) 全小中学校への校内フリースペース設置を急がないか。  (要旨) 居場所サポーターが配置された校内フリースペースが設置され、家庭と教室との間にワンステップができたことに、「ありがたい」という声が届いている。まだ設置されていない学校のこどもたちにも等しく利用の機会が与えられるよう、全小中学校に居場所サポーターのいる校内フリースペースの設置を急いではどうか。</p> <p>(3) 校内フリースペースの運用に関するガイドラインをつくらないか。  (要旨) 本年度始まった校内サポートルームの運用は、各学校に任されている。学校現場の働き方改革や人手不足が叫ばれる中、各学校に任せるのではなく、ガイドラインを作成し、入室時の書類案を示すなど、学校が取り組みやすくしてはどうか。また、当事者のこどもたちや不登校支援に関わる方の意見も取り入れてはどうか。</p> <p>(4) ICTの活用を進められないか。  (要旨) 校内サポートルームや第三の居場所にも行けないひきこもり状態の児童生徒に支援を届けるには、児童生徒にとって安心できる場所からつながることができるオンラインの活用は重要である。オンラインでの面談・授業・学習支援はもちろんのこと、メタバースを活用したオンライン教育支援センターをつくるなど、支援の多チャンネル化を進めてはどうか。また、学校をサポートする体制のさらなる充実も必要ではないか。</p> <p><b>2 学習障害を含む発達障害の早期発見と支援について</b></p> <p>(1) 児童生徒の困り感を見逃さない仕組みをつくらないか。  (要旨) 発達の凸凹や人との関わりを含む環境とのミスマッチから、生きづらさや困り感を生む発達障害は、見た目では分かりづらく、症状も困り感も人それぞれである。「自分勝手」「困った子」「怠けている」などと誤解されることも多い。学習のつまずきの背景にある学習障害などの発達障害を見逃さないよう、担任などの教員の知識や経験に関わらず、見逃さない早期発見の仕組みをつくってはどうか。</p>		

発言順位	13	議員名	黒田 智子(市民の会)
発言事項	<p>(2) 個々に応じた配慮や支援が届けられる仕組みをつくらないか。  (要旨) 合理的配慮が提供されず、担任とのやり取りに苦勞している保護者の方からの相談が後を絶たない。担任など教員の知識やスキルの差で、情報や支援内容の違いがあり、それによって受けられる教育や支援に差ができてはならないと考える。たとえ担任などの教員に知識や経験が少なくても、個々に応じた配慮や支援が届けられる仕組みをつくってはどうか。こうした仕組みをつくることは、こどもたちが安心して過ごせる学校づくりにつながると考える。</p> <p><b>3 地域共生社会実現に向けて</b></p> <p>(1) ボランティアマッチングサイト「ボラ×マチAKASHI」を全市的な取組にしないか。  (要旨) 神戸市で本年度始まったボランティアマッチングサイト「ぼらくる」のように全市的な取組にし、貢献したい人とボランティアを募集したい団体がつながる仕組みにしてはどうか。</p> <p>(2) リアルなマッチングの機会をつくらないか。  (要旨) ボランティアしたい人とボランティアを募集したい団体が直接出会い、つながる機会をつくってはどうか。</p> <p>(3) 地域づくりの核となる人や団体が「共に学ぶ」機会をつくらないか。  (要旨) コミュニティ創造協会・社会福祉協議会・地域総合支援センター・こども財団・まちづくり協議会・自治会・学校・施設・NPO等地域の支援者や核となる人や団体が、協働・地域福祉・ファシリテーション等を共に学び、話し合う場をつくってはどうか。</p>		

発言順位	14	議員名	正木 克幸 (明石維新の会)
発言事項	<p><b>1 仮称「明石若者みらいプロジェクト」の創設について</b></p> <p>(1) 仮称「明石若者みらいプロジェクト」の創設について  (要旨) 本市の若者や子供たちに対し、勉学のみではなく、多様化する可能性を行政として直接支援して、夢を後押しする政策の実現に向けた取組について、市の見解を問う。</p> <p><b>2 地方独立行政法人明石市立市民病院の今後と県との連携について</b></p> <p>(1) 県立がんセンター移設をはじめとする県の医療計画の動向について  (要旨) 市の見解を問う。</p> <p>(2) 先端医療施設が仮に本市に設置された際の想定について  (要旨) 市の見解を問う。</p> <p>(3) 地方独立行政法人明石市立市民病院をはじめとする本市域の医療の在り方について  (要旨) 市の見解を問う。</p> <p>(4) 県との担当部局レベルでの情報・意見交換について  (要旨) 市の見解を問う。</p>		

発言順位	15	議員名	井藤圭順（自由民主党明石）
発言事項	<p><b>1 就学前施設について</b></p> <p>(1) 市立保育所・こども園の防犯カメラの設置について  (要旨) 市立保育所・こども園の防犯カメラの設置の現状について、市の見解を聞く。</p> <p>(2) 市立幼稚園のAED設置について  (要旨) 市立幼稚園のAEDについて、寄附で設置された1園を除いた26園は小学校と共用されているが、今後の設置について、市の見解を聞く。</p> <p>(3) 市立幼稚園の絵本等の購入について  (要旨) 本市は「いつでも」「どこでも」「だれでも」手を伸ばせば本に届く本のまちを推進しているが、市立幼稚園の絵本等の購入について、市の見解を聞く。</p> <p><b>2 小学校に設置されているフリースペースについて</b></p> <p>(1) 今年度、小学校に設置されたフリースペースの現状について  (要旨) 本市でも不登校の児童生徒が年々増加している中、今年度より新たに市内小学校7校に設置されたフリースペースの現状について、市の見解を聞く。</p> <p>(2) 小学校に設置されたフリースペースの今後について  (要旨) 今年度より新たに市内小学校7校に設置されたフリースペースの今後について、市の見解を聞く。</p> <p><b>3 「ゼロ・ウェイストあかし」生ごみダイエット作戦について</b></p> <p>(1) 「ゼロ・ウェイストあかし」生ごみダイエット作戦の現状と今後について  (要旨) 今年度より、生ごみの減量化を図るために、「生ごみダイエット作戦」と称し取り組まれているが、現状と今後について、市の見解を聞く。</p> <p>(2) 生ごみ処理機からできた堆肥の利活用について  (要旨) 生ごみ処理機からできた堆肥を、豊かな海を取り戻すための施肥として利活用できないか、市の見解を聞く。</p>		



発言順位	16	議員名	飯田 伸子(公明党)
発言事項	<p><b>1 誰もが安心して賃貸住宅に入居できる支援制度の構築について</b></p> <p>(1) 高齢者や障害者など賃貸住宅への入居が困難な住宅確保要配慮者への支援の取組と関連法の改正に対する認識について  (要旨) 令和6年5月に改正住宅セーフティネット法及び改正生活困窮者自立支援法等が成立し、住宅部局と福祉部局が連携して要配慮者に対する居住支援の強化を図る方針が示された。本市の現在の取組と法改正に対する認識を問う。</p> <p>(2) 居住支援に取り組む専門の部署及び相談窓口の設置について  (要旨) 住宅部局と福祉部局にわたる要配慮者への居住支援体制の整備及び円滑な運用には長期的な取組が必要である。本市として専門の部署及び相談窓口を設置すべきと考えるが、認識を問う。</p> <p>(3) 居住支援協議会の設置について  (要旨) 改正住宅セーフティネット法では、住宅部局と福祉部局が連携した地域における総合的・包括的な居住支援体制の整備を推進するため、市町村による居住支援協議会の設置が努力義務化された。本市も設置に向けて早急に準備を進めるべきと考えるが、認識を問う。</p> <p><b>2 障害者手帳等の申請・更新時に必要な診断書取得費用の助成について</b></p> <p>(1) 各種障害者手帳や自立支援医療の申請・更新時に必要な診断書取得費用の助成制度を設けないか。  (要旨) 各種障害者手帳や自立支援医療の申請・更新時には医師の診断書が必要であるが、費用の負担が大きいとの声がある。他自治体では診断書取得に必要な費用に対し助成制度を設けている例もある。本市でも助成制度を設けないか、認識を問う。</p>		

発言順位	17	議員名	金尾良信(市民の会)
発言事項	<p><b>1 住み慣れた地域で安心して暮らせる障害者支援について</b></p> <p>(1) 強度行動障害者対応グループホームの設置と専門的支援のバックアップ体制について</p> <p>(要旨) 強度行動障害者への専門的支援ができるグループホームが必要であるが、現状は軽度対象者のグループホームが多くあり、強度行動障害者の受入れが進んでいない。対象者は市外、県外の施設を利用する状況になっている。住み慣れた地域で安心して暮らせるように、早期に強度行動障害者対応のグループホームの増設と専門的な支援ができる施設、事業所のバックアップ体制の構築が必要と考えるが、市の見解をお答えください。</p> <p>(2) 重度障害者等就労支援特別事業について</p> <p>(要旨) 本事業は障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための事業である。働く意思と能力がありながら、障害を理由として働くことのできない方に対し、日常生活に係る支援を就業中にも行うことで、障害のある方の就労機会を広げ、社会参加を促進することを目的としている。他市において実施されているが、本市においても実施に向けて取組ができないか、市の見解をお答えください。</p> <p><b>2 中尾親水公園について</b></p> <p>(1) これからの活用について</p> <p>(要旨) 中尾親水公園は、西部図書館のすぐ北側に位置し、JR魚住駅からも徒歩圏内にあるなど立地がよい。複合遊具や多目的広場、親水護岸などの施設が整備され、多くの人々が利用している。そうした魅力ある公園でありながら、滝や壁泉は稼働していない。そのため、滝や壁泉の周囲は立入禁止となっている。多くの人々が利用していることから、しっかりとした安全対策により、市民の安全を確保する必要がある。その上で、市民に人気の高い中尾親水公園をこれからどのように活用していくのか、市の見解をお答えください。</p>		

発言順位	18	議員名	高尾 秀彰 (明石維新の会)
発言事項	<p><b>1 消防団について</b></p> <p>(1) 減少傾向にある消防団員の確保について  (要旨) 総務省消防庁によれば、消防団員は全国的に減少傾向にある。本市においても年々消防団員が減少傾向にあるなか、消防団員確保に向けて様々な取組をしている。より多くの方に消防団員の活動を周知し、未来の消防団員確保につなげるには、さらなる広報活動が必要だと考える。現状、そして今後の取組について、見解を問う。</p> <p>(2) 大規模災害団員について  (要旨) 他自治体では大規模災害発生時において、大規模災害に特化した消防団を組織し、消防職員や消防団のOBなどが活躍する消防活動の支援的な組織がある。本市においてもこのような大規模災害に特化した支援組織を検討しているのか。見解を問う。</p> <p>(3) 消防団員の休団について  (要旨) 消防団員が仕事等の事情により本市を離れる場合、現状は退団しなければいけないが、手続等の面も考慮し、退団ではなく休団扱いにしてはどうか。見解を問う。</p> <p>(4) 各分団にある装備について  (要旨) 各分団各班で装備は統一されているのか。事務局、自治会などで各分団にどういった装備、機材がそろっているか把握をしているのか。</p> <p>(5) 出初式について  (要旨) 消防の士気高揚と、安全なまちづくりを目指して開催されている明石市消防出初式は、来年度以降、新庁舎整備により庁舎付近が会場に使えないが、どのようにお考えか。見解を問う。</p>		

発言順位	19	議員名	三好 宏 (自由民主党明石)
発 言 事 項	<p><b>1 公共施設のネーミングライツについて</b></p> <p>(1) 公共施設のネーミングライツについて</p> <p>(要旨) 兵庫県の公共施設においては、積極的な自主財源を確保するとの観点から、民間活力を大いに生かすことも含めて、ネーミングライツ制度を導入している。それに倣って、神戸市・尼崎市・西宮市・姫路市・加西市などもネーミングライツ制度を導入しているのが現状である。兵庫県立明石公園内でも、野球場は「明石トーカーロ球場」、陸上競技場は「きしろスタジアム」、テニスコートは「NDK来夢・嬉しの森テニスコート」など、施設に明石市内の企業がネーミングライツを所有している。</p> <p>本市は、財政面に不安要素がある中で、ネーミングライツ制度を導入することにより、市内企業の協力も得ながらその施設に費やす大切な市民の税金投入を最小限に留めることが、今後の持続可能な明石市政運営につながるのではないかと考える。</p> <p>令和5年6月議会でも質問をしたが、財政白書(たたき案)の中にも、自主財源確保の手段の一つとして「(市有施設など)広告料収入の拡大」と示されている。「ネーミングライツ」について、質問から1年以上が経過し、その調査・検討の進捗状況を聞く。</p>		

発言順位	19	議員名	三好 宏（自由民主党明石）
発 言 事 項	<p><b>2 明石中央体育会館と今後のスポーツ環境の整備について</b></p> <p>(1) 明石中央体育会館と今後のスポーツ環境の整備について</p> <p>(要旨) 中央体育会館は、昭和56年に、市民の文化活動の拠点の一つ、カルチャーパークのメイン施設として建設した多目的体育会館で、鉄筋コンクリート造、一部鉄骨2階建てで、まもなく築43年となる。この間、耐震工事や競技場床面の張替え、LED照明への変更など、その都度、改修工事が行われており、このたびもトイレの洋式化の取組がなされるようだが、施設の老朽化が顕著になっているところである。</p> <p>競技によっては、市内中学校の総体のメイン会場になるなど、あらゆる世代の市内のスポーツの拠点となっているが、土日祝日の利用が多く、予約が殺到している。また、交通アクセスは良いとは言えず、350台ある駐車場が満車になることもあり、路上駐車も発生している。</p> <p>よって、交通アクセスの良い、駅から徒歩圏内に、第二体育館の設置も視野に入れて考えるべきである。現在、大久保駅周辺地域には複数の公共施設予定地もあることから、球技と武道のすみ分けをすれば、小さいながらも第二体育館は実現可能であり、アーリーナ形状にすれば、コンサート等の対応もできるのではないかと考えるが、市の見解を問う。</p> <p><b>3 明石市公設地方卸売市場のこれからの在り方について</b></p> <p>(1) 明石市公設地方卸売市場のこれからの在り方について</p> <p>(要旨) 昭和52年の開設以来、48年目を迎えており、耐用年数が経過していた建屋もあり、耐震基準も満たしておらず、老朽化が著しく、天井からの落下物があつたことや、手すりやシャッターの腐敗が進んでおり、建て替えも含めて大規模な再整備の必要性が高まっている。再整備に当たっては、数年前から学識経験者も交えて議論が進んでおり、市場だけの整備のみならず、PFIの手法を用いて、民間の大手運送会社、ネット販売会社、給食提供会社などの流通を担う事業者と共同で、関西一円の重要な流通拠点とする計画も研究されており、早急な対応が望まれている。</p> <p>昨年9月議会でも質問をしており、その後、明石市は令和6年度予算に調査費を計上し、現在、委託されたコンサルタントによる調査が始まろうとしているなか、その調査報告は本年12月には示されることになっているが、その調査事項の内容と、それを受けて今後どのような議論がなされていくのか、市の認識を問う。</p>		

発言順位	20	議員名	長尾博子(公明党)
発言事項	<p><b>1 誰にでもやさしい市役所窓口について</b></p> <p>(1) 高齢の来庁者へのバリアフリー化について  (要旨) 本市役所窓口でのバリアフリーとして、手話通訳者、筆談ボード等、障害者の方が安心して手続が行えるように取り組んでいただいておりますが、障害まではいかないが、目が見えにくい、字が書きにくい、耳が聞こえにくい等、身体機能が衰えてきた高齢者に対しては、どのような取組をされていますか。市の見解をお聞きします。</p> <p>(2) 耳が聞こえにくい高齢者に対する支援について  (要旨) 耳が聞こえにくいと、窓口で会話をする時にどうしても職員が大きな声を出してしまいます。周りの人に内容が分かってしまったり、個人情報保護の面でも、周りに聞こえてしまうと大きな問題につながることもあります。イヤホンを耳に入れず、球体のイヤホンを軽く耳にかけるだけで、音がはっきり聞こえる「軟骨伝導イヤホン」を導入してはどうか。市の見解をお聞きします。</p> <p><b>2 聴覚障害者への支援の拡充について</b></p> <p>(1) 聴覚障害者に対する支援について  (要旨) 聴覚障害者に対する国の「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」、また、本市の「手話言語・障害者コミュニケーション条例」等の支援に係る取組の現状をお聞きします。</p> <p>(2) 日常生活で活用する遠隔手話通訳について  (要旨) 本市役所、あかし総合窓口、総合福祉センター、大久保市民センター、魚住市民センター、二見市民センター、観光案内所内での遠隔手話通訳は活用されていますが、タクシーや美容院、買物先など、様々な場所でも利用できる遠隔手話通訳があれば、大変助かると聞いています。スマホで導入できないか、市の見解をお聞きします。</p>		

発言順位	21	議員名	山下 祥（市民の会）
発言事項	<p><b>1 大蔵海岸が「世界一の海岸」となるための施策について</b></p> <p>(1) 今夏実施した「インクルーシブビーチ in 大蔵海岸」の評価と今後の展望について  (要旨) 8月4日に、障害のある方でも海水浴ができるイベントが開催された。「誰一人取り残さないまち」かつ「海のまち」としての特色を有する本市として、来年度以降も継続して実施していくべきだと考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(2) 一年を通じて、誰もが波打ち際近くまでアクセスしやすいよう「(仮称)大蔵海岸インクルーシブロード」整備に向けた検討をしないか。  (要旨) ビーチでは、海水浴やビーチスポーツ以外にも散歩やピクニック、ヨガなど、景色や波の音を感じながら過ごす多様な楽しみ方がある。ベビーカーや車椅子、杖を必要とする方、アウトドアワゴンを用いる方など、誰もがいつでも波打ち際近くまで容易にアクセスできる歩道を整備し、ビーチも包括した「ユニバーサルデザインのまちづくり」をしていかないか、見解を問う。</p> <p>(3) 更衣室、トイレ、授乳スペース、日陰のある場所等の整備をしないか。  (要旨) ビーチバレーボールやビーチサッカーなどの全国大会開催時に更衣室がなく、選手らは自身のテントやトイレで着替えている。また、清掃は行き届いているが、トイレの設備自体が古いといった声もある。加えて近年の猛暑やゲリラ豪雨の発生を受けて、屋根のある場所が少ないという問題も顕在化している。このほか授乳スペースの設置等、一連の整備について、令和5年度建設企業常任委員会議会報告会においても関係競技団体から要望があったため、今後の方針と見解を問う。</p> <p><b>2 誰もが安心して快適に楽しめる「豊かな海のまちづくり」について</b></p> <p>(1) 夜間花火禁止区域における禁止時間を22時から21時に前倒ししないか。  (要旨) 明石市の環境の保全及び創造に関する基本条例では、22時から日の出まで花火が禁止されている。しかしながら、花火終了後も深夜まで騒音が発生するなど、近隣住民への問題も顕在化している。神戸市須磨海岸や芦屋市では、21時以降は禁止されている。本市でも時間の最適化について検討をしないか、見解を問う。</p>		

発言順位	21	議員名	山下 祥 (市民の会)
発言事項	<p>(2) 海に沈む夕陽を貴重な観光資源として捉え、「夕陽が美しいまち」としてのプロモーションを強化していかないか。</p> <p>(要旨) 海のまちとして、本市の美しい夕景は天然の観光資源だと考える。日本の夕陽百選選定を目指し、観光地としての魅力向上につなげないか。また、百選に選ばれることで、市民にとってのシビックプライド向上にもつながると考えるが、見解を問う。</p>		
	<p><b>3 移住者に焦点を当てた施策について</b></p> <p>(1) 子育て中の移住者の参考になる「お出かけマップ」の作成等、転入する人も誰一人取り残さない情報周知の工夫をさらにしていかないか。</p> <p>(要旨) 本市では、子育て世帯を中心に他市から移住してくる方が多い。他方で、住み慣れた地でないことから「どこに遊びに行けばよいか、情報が限られる」といった悩みも聞く。例えば、伊丹市では「いたみすくすくまっぷ」といって、市内の公園や遊具などがイラストで網羅されたマップが子育て世帯に配布されている。本市においても、移住者が子育てしやすい支援をさらに整えていかないか、見解を問う。</p> <p>(2) 移住者をテーマにしたタウンミーティングをしないか。</p> <p>(要旨) 例えば、子育てのしやすさ以外にも、本市を選ぶに当たっては様々な理由があると考えます。「住むに当たって惹かれた理由」「住んでから感じた魅力と課題」など、他のまちを知るからこそ語れる移住者に焦点を当てて声を聞くことで、今後の市政運営に生かしていけると考えるが、見解を問う。</p>		



発言順位	22	議員名	辻本達也(日本共産党)
発言事項	<p><b>1 大型公共事業の分割発注と地元業者の育成について</b></p> <p>(1) 分割発注によるメリットとデメリットについて (要旨) 認識を問う。</p> <p>(2) 地元業者の育成について (要旨) 認識を問う。</p> <p><b>2 有機フッ素化合物による水質汚染について</b></p> <p>(1) 明石川上流部で高濃度の有機フッ素化合物が検出されたことについて (要旨) 神戸市の調査により33,000ナノグラム/リットルの有機フッ素化合物が検出されたことについて、市長の認識と対応を問う。</p> <p>(2) 発生源の特定と今後の対応について (要旨) 神戸市は「いまだ発生源は特定できていない」との見解を示していると聞き及んでいるが、市としてどのように考えているか。水質検査の結果については、明石市と神戸市に認識等のずれがあるように考える。検査方法等の見直しも必要と考える。見解を問う。</p> <p>(3) 本市の最終処分場浸出水と下水道処理水について (要旨) 有機フッ素化合物に関する水質検査は行われているか。結果はどうか。見解を問う。</p> <p>(4) 市民等への影響の把握について (要旨) 市民団体が実施した血液検査により、参加者のほぼ半数の人から米国学術団体が健康へのリスクがあるとして示す基準を上回る値が出たことが分かったが、これについて市長はどのように評価しているか。市民への影響を把握することについて、どのように考えているか。また、市民の不利益についてはどうか。認識を問う。</p> <p>(5) 検査を希望する市民に対し費用を助成することについて (要旨) 公費負担による大規模な血液検査が必要と考えるがどうか。見解を問う。</p> <p><b>3 市民からの陳情・意見等の取り扱いについて</b></p> <p>(1) 条例上の位置づけについて (要旨) 持参、郵送、電子メール「市長へのおてがみ・まるちゃんポスト」など様々な形式や方法により多くの要望・陳情・意見が寄せられていると考えるが、これらの明石市情報公開条例における位置づけについて、見解を問う。</p>		

発言順位	22	議員名	辻本達也(日本共産党)
発言事項	<p>(2) 民事調停の証拠書類として提出された例について  (要旨) 申立人が証拠書類として裁判所に提出した文書に、相手方が市長宛に提出した要望書があった例を聞き及んでいる。これに係る市長の認識を問う。</p> <p><b>4 小学校給食の無償化について</b></p> <p>(1) 検討状況について  (要旨) 昨年9月議会でも質問した。その際、市長より「検討はしっかりさせていたきたい」と答弁があったが、その後の状況はどうかを問う。</p> <p>(2) 請願署名に対する市長の評価について  (要旨) 小学校給食の無償を求める請願署名14,810筆がこのたびの議会に提出されていることについて、市長はどのように考えるか。評価を問う。</p>		

発言順位	23	議員名	中西 礼 皇（対話の会あかし）
発言事項	<p><b>1 チーム担任制について</b></p> <p>(1) 効果について （要旨）認識を問う。</p> <p>(2) 教育委員会の役割について （要旨）チーム担任制の調査研究や情報共有、検証等で市教育委員会の果たすべき役割があると考え、認識を問う。</p> <p><b>2 歩道橋事故及び大蔵海岸砂浜陥没事故を後世に伝える取組について</b></p> <p>(1) 市民、市職員に対しての取組について （要旨）現状と今後必要な取組について問う。</p> <p>(2) 学校での取組について （要旨）小中学校での実施内容を問う。また、教員が事故を学ぶ機会について問う。</p> <p>(3) 事故を伝えるための施設について （要旨）常設の施設が必要と考える。</p> <p><b>3 市民まつり、花火大会について</b></p> <p>(1) 花火大会に関する調査委託について （要旨）目的、内容を問う。</p> <p>(2) 市民まつりについて （要旨）検討状況や課題の整理について問う。</p>		

発言順位	24	議員名	家根谷 敦子(スマイル会)
発言事項	<p><b>1 豊かな海づくりについて</b></p> <p>(1) 豊かな海づくりの取組について  (要旨) 本市では、きれいな海から豊かな海を目指し、関係団体と様々な取組を進めているが、海産物の漁獲量減少などが深刻化するなか、子ども達をはじめ市民が身近に海を感じることができる取組が必要だと考える。市の今後の取組予定について尋ねたい。</p> <p><b>2 誰一人取り残さないやさしいまちづくりについて</b></p> <p>(1) 災害時の市民への情報発信について  (要旨) 本市では、発災時、防災無線で市民へ安全を呼びかけるが、高齢者や特に聴覚障害者は、音での情報が取得しにくかったり、できなかつたりするため、音声以外での情報伝達が不可欠である。緊急時にメールで情報が受信できる「防災ネットあかし」への登録を促進すべきと考える。市の今後の取組予定について尋ねたい。</p>		